

●各県師会の地域ケア推進度①

各師会へ地域包括ケアシステムに関するアンケートを
2019年6月実施。計36師会より回答が得られた。

Q1.地域ケアシステムのサービス提供目的や内容をご存じですか？

⇒ 86%の師会が理解

Q2.貴師会は、地域の多職種との面識や交流はありますか？

⇒ 70%の師会が面識・交流があることから、多職種との連携は必要不可欠のものとなっている。

●各県師会の地域ケア推進度②

Q3.貴師会の会員が鍼灸業界以外の医療・介護等の専門業種が主催する研修会・講習会に参加することがありますか？

⇒ 84%と関心が高い。

Q4.はり師きゅう師が介護保険制度の活動として機能訓練指導員の要件に加わったことはご存じですか？

⇒ 92%が把握。

Q4.また、機能訓練指導員として活動する会員はいますか？

⇒ 30%の師会で活躍している会員がある。

●各県師会の地域ケア推進度③

Q5.貴師会で(または会員が)、機能訓練指導員として活動したり、はり師きゅう師が参加できる介護予防事業に参入したり、地域や多職種との連携を学ぶ機会を作りたいと思いますか？

⇒ 86%師会が積極的参加を表明。

アンケートの回収率（79%）

地域での医療・介護提供サービスが地域ケアシステムに移行していく過渡期に於いては、鍼灸師も敏感になっていると感じられる。

地域ケア推進委員会は各師会に新しく時代に即した提案をしていくべきである。

まとめ

- ・超高齢社会の必要に応じて医療の形態も変化して、医療や介護専門職の活躍の「場」が地域社会に移行しています。
- ・そのために地域包括ケアシステムが考案され、今後更にこのシステムが活用されるようになります。
- ・鍼灸師は地域包括ケアシステムに「その他の専門職」として活躍を期待されています。
- ・鍼灸・鍼灸師が地域で貢献するためには「鍼灸師は何をすべきか？」「鍼灸・鍼灸師に何が求められているか？」「どのように他専門職と連携するのか？」などを整理しておく必要があります。

地域ケア推進委員会はその答えを皆様にお伝えしたいと考えています。